

# 学校のチーム力向上を目指したサポータティブな組織づくりの在り方

—学校事務職員のよりよい校務運営参画に向けた研修講座の開発を通して—

企画開発室 石崎 耕一郎 兵頭 俊二 石崎 有一  
檜垣 賢一 山下 太志

## 1 研究の目的

学校を取り巻く課題が複雑化・多様化し、学校に求められる役割が拡大していく中、多様な専門性を有する教職員や専門スタッフが自らの専門性を発揮する、「チームとしての学校」の実現が求められている。このような点において、高い専門性を持つ学校事務職員（以下「事務職員」という。）には、学校運営チームの一員として、校務運営に主体的、積極的に参画することが重要である。そこで、よりよい参画のために、事務職員同士、あるいは事務職員と教員とが互いに支え合い、連携・協働して校務運営に当たることができるサポータティブな組織づくりの在り方について考察するとともに、事務職員のよりよい校務運営参画を目指した研修講座を企画・立案することとした。

## 2 研究の内容

### (1) 先行研究及び他県教育センターの動向

熊丸（2016）や藤原（2020）の研究では、事務職員の校務運営に参画する資質・能力の育成のためには、「教育活動や教育課程の編成への参画」「研修機会の確保」「よりよい職場環境の構築」が必要であることが示されている。また、他県の教育センターにおいても、事務職員を対象とする研修に力を入れている機関が増えており、高知県や広島県では、キャリアステージ別の悉皆、指名研修だけでなく、自主的な研修受講ニーズに対応した希望研修の充実を図っている。

### (2) 本センターにおける取組

本県においても、事務職員対象の職階に応じた悉皆又は指名の研修は行っているが、中堅事務職員に当たる専門員、主任を対象とした研修は、他の職階と比べて少ない。また、本センターの事務長研修や事務係長研修における受講者の意見では、「事務職員の専門性を発揮した校務運営参画」「若手事務職員の育成」という二つの要素の重要性が表出している。これらのことから、実務の中核を担う専門員や主任の資質・能力の向上に向けた研修の充実が必要であると言える。

### (3) アンケート調査

専門員、主任が抱える課題や求められる資質・能力等の実態把握のためのアンケート結果では、「事務処理能力」や「対人関係力」などの実務面の能力向上が求められているとともに、校長等の管理職は「組織貢献力」を重視しており、学校の組織力の向上や学校教育目標の実現に向けて、事務職員の専門職としてのスキルの活用を期待していることが明らかとなった。

### (4) 事務職員に求められる資質・能力の考察

専門員や主任に特に求められる資質・能力のうち、「事務処理能力」については、実務の効率化等により、事務職員の専門性を生かした、業務改善等の助言や提案が期待され、「対人関係力」では、職場内や保護者、地域との良好な人間関係を構築するためのコミュニケーション力、「組織貢献力」では、学校ビジョンを踏まえた校務運営上の課題に関する意見の具申や企画会等への積極的な参画など、学校のチーム力向上につながる役割が重視されている。

### (5) サポータティブな組織の在り方

アンケート結果では、専門員、主任が、校務運営に更に参画していくため、「事務職員と教員の業務を互いに理解すること」が必要であるという意見が数多くあった。教員と事務職員が、学校教育目標の実現に向けて、相互の業務や課題等を理解・共有し、協働する機会を持つことで、子どもたちのよりよい成長のために、チームとして互いを信頼し、支援し合える職場環境の構築につながると考えられる。

### (6) よりよい校務運営参画に向けた研修講座の企画・立案

前述の考察やアンケート結果から、学校のニーズを踏まえ、専門員、主任の校務運営参画に対する意欲の高揚や、その資質・能力の向上を目的とした研修講座を企画・立案し、令和5年度から実施する予定である。

## 3 研究のまとめ

事務職員を含む教職員が、チームとして支援し合うことができる組織の在り方や事務職員に求められる資質・能力について考察し、その内容を踏まえた新規研修講座を開発することができた。今後、講座の運営や事務職員の研修に関する情報共有など、関係各課等との連携を深めていく。また、専門員、主任が校務運営に更に参画していくために、本センターの研修講座の充実に努める。